

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトムなにわ放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・言語聴覚士による言語訓練		
2	・未就学児を対象とした学習支援及び就学プログラム		
3	・季節に応じた行事の開催		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 アトムなわ放課後等デイサービス

公表日 2025年3月12日

利用児童数

6

回収数

4

		チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				広々としたスペースだと思う	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				言語訓練をしてくれているので受けられている	今後も満足いただける言語訓練を実施していきたい
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4				学習や言語の支援を受けられているので合っていると思う	公表しているプログラムに納得をいただけているようで幸いです
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				計画に沿っていると思う	今後も計画に沿った支援を行っていく
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				・契約時に丁寧な説明があり、毎月の請求時にも説明がある ・疑問点があつて問合せたらすぐに納得できる説明をしてくれた	・引き続き丁寧な説明をしていきたい ・疑問点や不安点を解消できるような説明をしていく
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				支援計画の説明があり分かりやすい説明であった	引き続き丁寧な説明をしていきたい
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4				案内も頂戴するが、場所や参加方法の兼ね合いで難しい	開催場所や参加方法について確認し ニーズにマッチする物があれば案内を
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	4				時折LINEで写真や動画を送ってもらえるので、子どもの様子がすぐ分かりやすい	今後も様子を見てもらえ、安心感を得られるようにしていく
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				支援を受けられている	今後も安心して利用していただけるよう
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4				・職員から保護者会の提案はいただくが、仕事の都合で難しい ・保護者会はなくても良いと思っている	保護者会の開催はしたいと考えている
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				電話で迅速に対応していただいている	今後も迅速な対応をしていく
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4				HPで閲覧できるのと、行事はSNSで見える事ができる	今後も情報公開を実施していく
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
満 足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4				発熱時に連絡がありました	今後も速やかに連絡できる体制を整えていきます
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4				お迎えの職員さんにベッタリなので、安心して思う	これからも安心していただけるように支援をおこなっていく
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4				誰がお迎えに来てくれるか、誰が送り届けてくれるか毎回楽しみな様である	楽しく迎えを待っていただけ、楽しく帰宅できるようにしていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				満足している	今後も満足していただけるようにしていきます

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	アトムなわ放課後等デイサービス	公表日 2025年3月12日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		大阪市の人員配置基準よりも多くの人員配置をしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○		階段が長く傾斜が急である。施設管理者に対応はお願いしているがコスト面の問題もあり、話が進んでいない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々清掃や喚起を行い、清潔だけでなく感染対策を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		共有スペースと個室スペースを設けている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間でミーティングを行うなど広く参画している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回のアンケートだけでなく、送迎の際にも保護者のニーズを把握できるように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		障がい者虐待防止研修等の受講だけでなく、ニュースになった事案があれば記事を配布している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		利用予定表で実施する支援プログラムを公表している。 例：言語訓練	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日々の様子を日報に記載し、それらを蓄積し、計画更新時に職員間で検討している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		責任者は作成前に職員の意見も聞き、それらが反映された計画書を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成後も各々のファイルを自由に閲覧し支援方法を確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		モニタリングや日々の日報で状況を把握し、適切にアセスメントを行えるようにしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保育園や幼稚園からの小学校への移行がスムーズに行えるよう、学習支援やプログラムを立案し、支援している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的なミーティングを行い立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事を取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		少しずつ集団活動に馴染めるようにしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		トイレ介助は同性間で介助をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終業後に日々の振り返りを実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を取り、支援計画の更新に活用	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングや記録を取り、それらを見直し、支援計画の見直し必要性を判断している	
関係	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関の医師より様々な感染症対応策をレクチャーしていただいている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		日々の様子を保育園や幼稚園の関係者にお伝えしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		4月に保育園から小学校へ入学する対象児がいるので、情報共有を実施予定。	現在資料を作成中であり、入学後に効果検証を実施予定。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	他事業所との連携は図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域で開かれる区民祭りに行事として参加し、交流を図っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		自宅へ送った際に家庭での様子をヒアリングし、課題や発達状況を相互理解できる様になっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ニーズにマッチしそうな研修会や講演会があれば、チラシを渡すなど情報提供を行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		言語訓練を実施した日には対象時の保護者に訓練したことを伝えている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者へ計画の詳細を伝え、意向に沿った計画書になるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		同意のサインをしていただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々電話等で相談に応じ、助言している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等を開催したい意向はあるが、働き方やライフスタイルや居住地が多岐に渡るため、双方の日程の都合がつかない。	機会を設けて実施したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談に応じている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月中旬に翌月の利用予定表を配布するので、その際に広報誌を渡している。行事の様子はSNSやブログで利用児が特定されぬよう、配慮して公開している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きロッカーにて保管している。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードや身振り手振りで情報伝達をし、意思疎通や理解ができるように配慮している。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○				
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練を定期的に実施している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		半年に1度の間隔(3月、8月)で避難訓練を実施している。	8月に関しては訓練前、訓練中の水分摂取をこまめに実施している
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		見学时や契約時に服用薬の確認をしている。事業所で用いている連絡帳でも服用薬がないか日々の確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		実績を収納するクリアファイルに記入	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		上記の防犯訓練、避難訓練だけでなく安全管理のための訓練、出入り口に防犯カメラ設置も行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画だけでなく、利用児の特性に応じて支援員を1対1で配置する事を保護者へ見学时に伝えている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットだけでなく、その前段階でも情報共有を行っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修をローテーションで受講している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に重要事項説明書を呈示し説明し、記載している。		